

2月の衛研検査情報

～トピックス～

年末食品一斉収去検査

細菌検査は、魚肉ねり製品・食肉製品・カット野菜・そうざいなど181検体503項目の検査を行いました。理化学検査は、魚介類加工品、肉卵類加工品、野菜・果実類加工品、菓子類、かん詰・びん詰食品などを重点に、259検体3,986項目の検査を行いました。

主な結果 細菌検査では、1検体の規格基準違反と、8検体の衛生規範不適がありました。理化学検査では、4検体の表示違反がありました。

平成23年度 食品の食中毒菌汚染実態調査

本年度は4月に発生した焼肉チェーンにおける腸管出血性大腸菌（以下、EHEC）食中毒を踏まえ、原因菌とされたEHEC O111が追加され、サルモネラ属菌、EHEC O157、O26及びO111、カンピロバクター・ジェジュニ及びコリ、大腸菌について、食肉110検体の調査を行いました（カンピロバクターは内臓肉及び鶏肉 24検体、大腸菌は生食用の食肉 10検体について実施）。

主な結果 サルモネラ属菌は4検体から検出されました。カンピロバクター・ジェジュニは9検体、カンピロバクター・コリは1検体から検出されました。大腸菌は3検体から検出されました。

水道水質検査の外部精度管理に関する調査への参加結果 ー神奈川県ー

横浜市衛生研究所では、厚生労働省が実施する「水道水質検査の外部精度管理に関する調査」に参加して、水質検査に係る技術水準の向上、検査体制の改善を通じて、検査結果の信頼性の確保に努めています。

主な結果 本編で、参加結果を報告しています。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成24年1月は、マイコプラズマ肺炎、ロタウイルスによる感染性胃腸炎、インフルエンザワクチン、ポリオに関するページのアクセスが多くみられ、総件数は160,172件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。